社会資本総合整備計画　　事後評価書

令和08年04月10日

計画の名称	国立市における安心・安全な下水道整備（防災・安全）												
計画の期間	平成３１年度　～　令和０５年度　(5年間)									重点配分対象の該当			
交付対象	国立市												
計画の目標	老朽化した下水道を計画的に改築することで施設の健全性を確保し、下水道施設に起因する事故リスクを減らす。 災害時に備え、緊急輸送路に埋設された管路施設の耐震性能を確保し緊急時における交通障害リスクを減らす。 地域ごとに浸水リスクを評価し、都市機能の集積状況等に応じた整備目標を設定して、計画的に下水道整備を推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	2,397	A	2,397	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		31	33	35
1	下水道ストックマネジメント事業に伴う調査、改築実施率を0%から18%に向上させる。			
	ストックマネジメント事業により調査を行い、必要に応じた改築を施した路線延長を増加させる。 管路施設の改築実施済延長（ｋｍ）／下水道の総延長（220ｋｍ）	0%	10%	18%
2	緊急輸送路に埋設された管渠の耐震診断実施率を100%に向上させる。			
	緊急輸送路に埋設された管路施設（避難所下流路線と重複する路線[実施済み]を除く）の耐震診断実施率の向上 緊急輸送路に埋設された管路施設の耐震診断実施済延長（ｋｍ）／緊急輸送路に埋設された管路施設の延長（ｋｍ）	0%	100%	100%
3	国立市雨水管理方針を策定し、国立市雨水管理総合計画の策定率を70%にする。			
	雨水管理総合計画のうち計画期間、策定主体、整備目標等を定めた雨水管理方針を策定し、策定率の向上を図る。 雨水管理総合計画の策定率	0%	0%	70%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

案件番号：　0000606121

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H31	R02	R03	R04	R05	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	国立市	直接	国立市	管渠（合流）	改築	ストックマネジメント事業（管路施設・ポンプ場施設）	点検・調査・計画策定・設計・工事	国立市	■	■	■	■	■	2,364		策定済
		ストックマネジメント計画																	
	A07-002	下水道	一般	国立市	直接	国立市	管渠（合流）	新設	国立市下水道地震対策事業	管路施設耐震診断　L　2ｋｍ	国立市	■					17		－
	A07-003	下水道	一般	国立市	直接	国立市	－	－	施設計画の策定	国立市雨水管理総合計画の策定	国立市					■	16		－
											小計						2,397		
											合計						2,397		

案件番号：　0000606121

事　後　評　価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
計画策定主体である国立市にて評価を実施し、定量的指標（事業指標）の達成状況について学識経験者に意見聴取をした。	令和7年度
	公表の方法
	国立市ホームページ

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	1　ストックマネジメント事業 老朽化した下水道を計画的に改築することで施設の健全性を確保し、下水道施設に起因する事故リスクを減らした。 2　国立市下水道地震対策事業 災害時に備え、緊急輸送路に埋設された管路施設の耐震性能を確保し、緊急時における交通障害リスクを減らした。 3　施設計画の策定 計画的に雨水対策を実施していくために、地域ごとに浸水リスクを評価し、都市機能の集積状況等に応じた整備目標を設定した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

1　ストックマネジメント事業については、リスク評価の高い処理分区を優先して、すべての管きょを対象に調査を実施し、緊急度が高い管きょの改築を実施していき、下水道施設に起因する事故リスク等を減らしていく。
2　国立市下水道地震対策事業については、今後も下水道施設の点検・調査や修繕等を適正に実施し、下水道施設の耐震性能の維持に努めていく。
3　作成した雨水管理方針をもとに、計画降雨等に対するハード対策、ソフト対策及びその必要規模を位置付けた段階的対策計画を検討し、雨水管理総合計画の策定を目指す。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	管路施設の改築実施済延長(km)／下水道の総延長(220km)		
	最　終 目標値	18%	耐用年数50年を超過した管きょを対象とした第1期とリスク評価の高い処理分区を対象とした第2期の一部の改築実施を想定していたが、第1期の調査結果に基づく計画策定において「緊急度Ⅰ」の管きょの割合が少なく、また、「緊急度Ⅱ」は5年未満の対策が必要であるため、緊急度Ⅰ及びⅡの管きょを対象に改築を行った。そのため、第1期の計画期間が令和6年度まで延伸となったため、改築実施率は10%であった。
	最　終 実績値	10%	
2	緊急輸送路に埋設された管路施設の耐震診断実施済延長(km)／緊急輸送路に埋設された管路施設の延長(km)		
	最　終 目標値	100%	計画をもとに事業を実施し、管路施設の耐震診断実施率100%を達成した。
	最　終 実績値	100%	
3	雨水管理総合計画の策定進捗率		
	最　終 目標値	70%	雨水管理総合計画の策定に向けて、雨水整備の基本方針等を定めた雨水管理方針を作成し、雨水管理総合計画策定進捗率70%を達成した。
	最　終 実績値	70%	

案件番号：0000606121